

■エジプト：民間出資による電源開発計画を推進

電力省は2013年3月22日、3カ所の発電所計画（総設備容量550万kW）を、民間投資により実現したいと発表した。発電所は、Build Own and Transfer (BOT) 方式で建設され、総額74億ドル(7,000億円)に上る。建設地点は、Asyut 県 Dairut 市 (225 万 kW) と Qena 県 (130 万 kW)、Beni Suef 県 (195 万 kW) である。政府は電力不足に対応するため、第7次5か年計画 (2012-2017) を修正し、今回の計画を追加した。